

## CONTENTS

### 診療科紹介

[眼科]

3歳児眼科検診における屈折検査導入

[形成外科]

形成外科診療のご紹介

[放射線科]

放射線機器リニアック更新による体制強化  
およびMRI増設・更新

[リプロダクションセンター]

リプロダクションセンターのご紹介

### TOPICS

看護部 / 羽田空港クリニック / 医事課

Toho University Omori Medical Center  
Public Relations Magazine

VOL.  
002

# おかげさん



OKAGESAN



VOL. 002 2022 AUTUMN



“患者よし・地域よし・病院よし”の三方よしを目指し、  
地域の皆様に大森病院の旬な情報を年4回お届けする広報誌「おかげさん」です。



東邦大学  
医療センター

大森病院



# 眼科

助教  
まつむら さいこ

松村 沙衣子

# 当

院小児眼科には未熟児網膜症、斜視弱視、小児神経、近視抑制の専門外来があり、幅広く診療を行っております。今回は、当院小児眼科が力を入れている地域医療への取り組みを紹介致します。

3歳児眼科健康診査（3歳児健診）は、弱視のリスクが高い小児を発見する重要な機会であり、適切な時期に眼鏡装用や遮閉訓練の

## 大森病院小児眼科の地域医療への取り組み 〜3歳児眼科検診における屈折検査導入〜

治療を行うことにより、多くの症例は矯正視力（1.0）以上の視力を獲得することが可能です。しかし、健診の検査内容によっては弱視が見逃されることが問題となっており、精度向上のための屈折検査が推奨されています。政府は自治体の屈折検査導入を補助する方針を決定し、大田区も昨年度に導入することとなりました。しかしながら、3歳児健診は、保健師や小児科医が中心となって実施しているため、現場の混乱を招くことが予想されました。そのため、地域医療における大学病院の役割として、保健師、小児科医、眼科医のそれぞれの立場において屈折検査の導入の意義や理解を深めてもらうこと、また弱視治療における大学病院との医療連携を確立することに重点を置きました。具体的

な取り組みとして、大田区健康づくり課と協力して屈折検査の基準値設定や測定方法のプロトコールを作成しました。次に、2次検診会場で実際に屈折検査測定を行う保健師、結果判定を行う小児科医、その後の3次精密検査を行うクリニックの眼科医、それぞれに向けた資料を作成し、屈折検査の勉強会を行いました。オンラインで行われた勉強会では、コメディカル、医師含めた計179名の参加があり、活発な意見交換が交わされました。またこの機会に合わせ、大田区眼科医会と協力し、3歳児健診における屈折検査の有用性を評価する共同研究を立ち上げました。現在、大田区では3歳児健診での屈折検査が開始され、円滑に連携医療が行われています。今後は大田区での屈折検査導入モデルを基に、近隣の川崎市での導入にも貢献したいと考えております。

スクリーニングは眼科医による目の精密検査に取って代わるものではありません。

**目の精密検査が推奨されます**

- 遠視 (凸) [遠くにも近くにも焦点が合わない]
- 乱視 (凸) [焦点が1か所に集まらない]
- 不同視 [近視・遠視・乱視(遠視)の乱視]

4.7	39	4.5
右	左	両目
OD	OS	
+2.25	+4.75	
+3.75 -3.00 @70°	+5.50 -1.50 @30°	

目の状態は次第に変化するため、定期的にスクリーニングを実施してください。

右目	左目	両目
近視	近視	
遠視	遠視	
乱視	乱視	
斜視	斜視	
正常	正常	正常

図1：3歳児健診に導入された屈折検査（スポットビジョンスクリーナー：SVS）。侵襲性がなく、数秒で測定が可能。





# 形成外科

教授  
荻野 晶弘 おぎの あきひろ

## 形

成外科では、先天的あるいは後天的な体表の変形・欠損や機能障害、顔面外傷、熱傷、皮膚癌、難治性皮膚潰瘍などを治療対象としています。形成外科では変形や欠損を可能な限り正常な状態に修復します。また、術後の傷痕がなるべく目立たないよう整容面を配慮し、機能的にも満足が得られるような治療を心掛けています。

### 外傷

熱傷(やけど)・顔面外傷(すりきず、きりきず、顔面骨折など)

熱傷では軟膏や創傷被覆材を用いた保存療法やデブリードマン・植皮による外科的治療を、顔面骨折では金属製・吸収性プレートによる骨固定から自家骨・人工骨を用いた硬組織再建を行っています。

### 先天異常

口唇裂・口蓋裂、小耳症、埋没耳、折れ耳、多・合指(趾)症、漏斗胸、臍ヘルニア、血管腫や母斑などお子さんの変形の状態や今後の成長を考慮して適切な治療を行います。

### 皮膚腫瘍・皮下腫瘍・色素異常

良性腫瘍(粉瘤、脂肪腫、いぼ、ほくろなど) 切除術ではなるべく痕痕が目立たないように心掛けています。

悪性腫瘍(基底細胞癌、扁平上皮癌、悪性黒色腫、悪性皮膚軟部腫瘍など) 顔面では欠損部位に応じた局所皮弁再建で機能・整容的に質の高い再建を、四肢や体幹部では患肢温存を基本原則とし、できるだけ元に近い形態に修復(再建)します。

赤あざ(血管腫)、青あざ(太田母斑・異所性蒙古斑)、茶あざ(扁平母斑・ベッカー母斑)

適応症例にはレーザー治療を

行っています。

### ケロイド・肥厚性瘢痕・瘢痕拘縮

薬物療法(ステロイド局注・テープ)およびZ形成術や皮弁移行術などの手術療法を併用し、機能・整容両面での改善を図ります。

### 顔面神経麻痺

より自然な表情の獲得を目指した治療を行っています。隔週月曜日午前の専門外来(林教授)で診療を行っています。

### 眼瞼下垂症・眼瞼内反症

先天性・後天性の眼瞼下垂や眼瞼内反症に対して、整容的かつ機能的な改善を図ります。多くの症例では局所麻酔での日帰りもしくは短期間の入院手術治療が可能です。

### 難治性潰瘍・下腿潰瘍・足壊疽、褥瘡など

軟膏療法など保存的療法に抵抗性を示す症例では、根治的デブリードマン、局所陰圧閉鎖療法による創底管理(wound bed preparation)を行い、植皮や皮弁による閉創手術を行

い、なるべく早期治療、早期社会復帰ができるようQOLを重視した治療を心掛けています。

### しみ・しわに対するレーザー治療

2022年3月、形成外科に全国の大学病院で初めてPicoWay(Picoレーザー)を導入しました。色素性病変の治療効果のみならず、自費診療として刺青除去やしみ治療、肌質改善治療を行うことが可能です。

### 整容・美容外科

埋没重瞼術、切開重瞼術、下眼瞼除皺術、フェースリフト、隆鼻術、乳房縮小術・固定術、乳頭・乳輪縮小術、乳輪tattoo、全身余剰皮膚切除・形成術など整容・美容外科手術(自費診療)を行っています。

PicoWay™





## 放射線科

教授  
堀 正明  
ほり まさあき

# 放射線機器リニアック更新による 体制強化およびMRI増設・更新

**放** 射線科では、放射線治療部門、放射線診断部門にわかれておりますが、それぞれについてご紹介したいと思います。

放射線治療部門では、リニアック（放射線治療装置）を1台更新し、2022年2月から臨床使用3月からは計2台フル稼働しており、その結果、2台とも回転型強度変調放射線治療（IMRT、VMAT）、画像誘導放射線治療（IGRT）、定位放射線照射（SRS

およびSRT）などの高精度照射を速やかに提供できる体制が整いました。同一ベンダーの製品で、ビームの線質を同一に設定することにより（ビームマッチング）、どちらのリニアックでも同一の治療が施行できるため、より柔軟で効率的な運用が可能となりました。また、治療計画や測定関連機器を更新、増設するとともに、平坦化フィルターを外して照射時間を短縮できるビームや、体表面マッチングによる位置照合装置も

導入され、患者さんの負担軽減、更なるスループット向上が期待されます。さらに待合スペースや通路、治療室内にスカイシーリング、パーチャルウィンドウを設置し、患者さんに心地よく過ごしていただける工夫もしております。

放射線科診断部門では、主にCT装置やMRI装置を用いた画像診断を行っております。年間では、CT検査

45,000件、MRI検査12,000件ほどです。私たちは対象となる患者様、疾患に対し最も適した検査を行い、臨床に役立つ画像および専門医による報告書を提供いたします。地域の先生方のご支持もあり、多くの検査のご依頼を頂いております。ただしMRI検査はCT検査と比較すると検査時間が若干長くなってしまうため、ご依頼のタイミングによっては少々お待ち頂くこともございます。本年度中に最新の15テスラのMRI装置の増設、および古い1.5テスラのMRI装置を最新の3テスラのMRI装置へ入れ替えます。AI（人

口知能）を搭載したMRI装置の活用により、現状よりさらに高品質の画像検査がより短い時間で可能になると思っておりますので、ぜひ検査のご依頼をいただけますと幸いです。

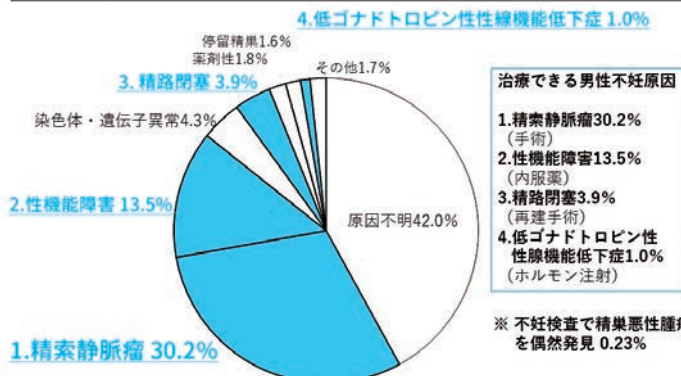
ご不明な点等ございましたら、地域医療支援センターまでお気軽にお問い合わせください。



Team-Terahara-2022 / 前列 右から3人目 寺原 敦朗（てらはら あつろう）教授



治療できる男性不妊原因の早期発見・早期治療が重要です



厚生労働省子ども・子育て支援推進調査研究事業 我が国における男性不妊に対する検査・治療に関する調査研究  
平成27年度総括・分担研究報告書(湯村 率ら) n=7268



教授  
永尾 光一  
ながお こういち

泌尿器科部門

1 981年に日本で最初の男女総合の生殖医療を担当するリプロダクションセンターが東邦大学医療センター大森病院に開設されました。リプロダクションセンター泌尿器科部門の診療内容は、男性不妊症と性機能障害が中心となっています。2022年4月から婦人科の人工授精・体外受精・顕微授精が年齢や回数に制限はありませんが保険適用になりました。男性不妊外来においても無精子症に対する検査や手術が保険適用になりましたので、今までよりは受診しやすくなりました。また、性機能外来も行っていますので、勃起障害・射精障害・陰茎硬化症・陰茎彎曲症などでお悩みの方がおられましたら受診をお勧めいたします。男性不妊外来と性機能外来は月曜日、木曜日、金曜日の午前、精索静脈瘤外来は土曜日午前に行っています。完全予約制で、月曜日から金曜日の14時〜16時まで予約電話を受け付けています。予約時に症状や受診目的を伝えてください。

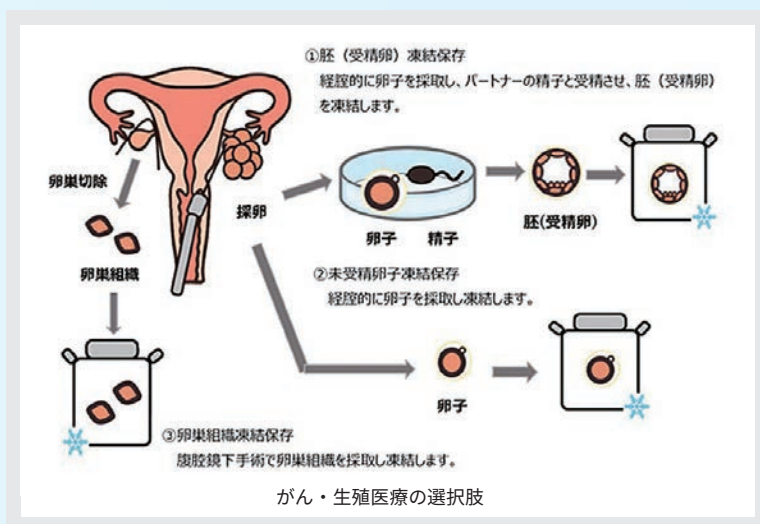
リ プロダクションセンター婦人科部門では、ご夫婦それぞれにオーダーメイドな不妊治療を提供しています。不妊治療に先立って治療が必要な子宮筋腫や卵巣嚢腫が診断される場合は「妊孕性に配慮した手術」を行います。体外受精・顕微授精・胚移植等の生殖補助医療では、保険適用と併用可能な先進医療も複数取入れ、難治性不妊症にも取り組んでいます。繰り返し不妊治療を回避して、できるだけ早く妊娠につながることを目指し、外来子宮鏡で着床環境の検査や改善に積極的に取り組む、また「不育症外来」も開始いたしました。



教授  
片桐 由起子  
かたぎり ゆきこ

婦人科部門

た。また、「がん・生殖医療」にも取り組んでおり、助成金の対象施設として認定されております。卵子凍結・胚凍結・卵巣組織凍結を、原疾患の治療スケジュールに影響しない日程で提供することに努めております。ご予約の際「がん・生殖医療」とお申し出をいただければ、最短の日程でご案内させていただきます。情報提供やご相談だけでも構いませんので、ご紹介ください。





## 看護部

不妊症看護認定看護師

永野 妙子、安宅 大輝、米倉 あゆみ

写真左から 米倉、永野、安宅

# 患者さんの未来を支える 不妊症看護認定看護師の役割

## 近

年、晩婚化がすすむと共に、女性の初産時の年齢も上昇しています。成婚した夫婦の中で不妊に不安を感じたカップル数は3組中1組を超え、子どものいない夫婦では55.2%にのぼるといわれています。その中で、不妊治療を経験して出生した子どもの数は右肩上がりに上昇しており、2019年には6万人を超える新生児が、体外受精や顕微授精といった生殖補助医療により出生しています。一般不妊治療を含めれば、さらに多くの子どもが不妊治療により出生していることとなります。また、2022年4月より不妊治療の保険適応が拡大されたことで、多くのカップルが不妊治療に踏み込みやすくなりました。

しかし、不妊治療というのは、必ずしも妊娠が約束された治療ではなく、患者さんである多くのカップルは、子どもを授かることを望みながら、様々な不安や葛藤と向き合っていかなければなりません。そこで、不妊症看護認定看護師は、患者さんの気持ちに寄り添いながら、情報提供や意思決定を支援する役割を担っています。なかでも、不妊症看護認定看護師が担当している、当院の不妊看護外来では、相談に来られた患者さんが、自らの思いを見つめ直し、ベストと思える選択を見出し、ただけるように支援しています。なお、当院は、全国で唯一、男女の不妊症看護認定看護師が在籍する病院でありパートナーも含めた男女それぞれの多様な悩みにも柔軟に対応しております。

### 看護外来 ※完全予約制

第1火曜日	9:00 ~ 12:00
第1金曜日	13:30 ~ 16:30
第2水曜日	9:00 ~ 12:00
第3木曜日	13:00 ~ 16:00
第5土曜日	9:00 ~ 12:00

#### 【連絡先】

東邦大学医療センター大森病院 03-3762-4151(代表)  
リプロダクションセンター (内線 3626)

このように不妊治療・生殖医療は、患者さんの未来を支える、また次世代をつなぐ医療と考えております。ぜひ地域の皆様方と患者さんの未来を見据えて一丸となって支えていければと思っております。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。



# 東邦大学羽田空港クリニックの取り組み 日本の空の玄関口 「羽田空港のクリニック」

## 東

東邦大学羽田空港クリ  
ニックは2005年4  
月、東邦大学の関連施  
設として羽田空港第2ターミナル

ビル1階に開院しました。羽田空  
港は日本最大のハブ空港で敷地  
面積は約1,522ヘクタール、こ  
れは渋谷区の面積に相当し延べ  
5万5千人の従業員が日々の勤務  
を行っています。このような空港  
で現在、羽田空港クリニックがど  
のような取り組みをしているか紹  
介させていただきます。

クリニックは常勤医2名、看護  
師3名、受付スタッフ5名で対応  
し、朝9時から夜22時まで休診  
日なく365日診療をしております。  
内科疾患が中心ですが、転倒  
や手荷物落下による外傷、蕁麻疹、  
日焼け、虫刺され、肘内障、膀胱  
炎、また機内での迷走神経緊張症、  
気圧変化による頭痛など、様々な  
患者さんが受診されます。時には  
空港内での急病者に往診を行うこ  
ともあり、外国人の受診者には電  
話通訳や翻訳アプリなども使用し  
ております。クリニックで対応が



困難な場合は連携している東邦大  
学医療センター大森病院や近隣の  
病院に紹介や搬送するなどし、質  
の高い安心安全な医療を提供でき  
るよう心がけております。

新型コロナウイルス感染が拡大し2020  
年4月に緊急事態宣言が発出され  
た以降は、旅客、勤務者の減少に  
伴いクリニック受診者も激減しま  
した。その間、クリニック運営に  
つき思索し、もっと羽田空港クリ  
ニックを知って利用して頂ければ  
と、航空会社、企業へのプレゼン  
テーション、時機に応じたクリ  
ニックの情報を健康ニュースやポ

スターとして配布、クリニック  
ホームページの見直しなどPR活  
動にも力を入れております。また、  
簡易的な健康診断や健康診断の二  
次精査、インフルエンザワクチン、  
最近では、通常の診療に加えて常勤  
医の専門である消化器外来や新型  
コロナ感染症対応として発熱外来  
や新型コロナウイルス抗体検査なども行っ  
て一般患者の対応にも力をいれて  
おります。

今後も、クリニックの強みであ  
る大森病院や東邦大学羽田空港第  
3ターミナルクリニック、近隣の  
病院との強固な連携、夜間休日の  
診療なども生かして羽田空港内  
での医療活動を行って参ります。



クリニック HP

## 羽田空港クリニック

所長 粗山 浩一 もみやま こういち

# 医事課

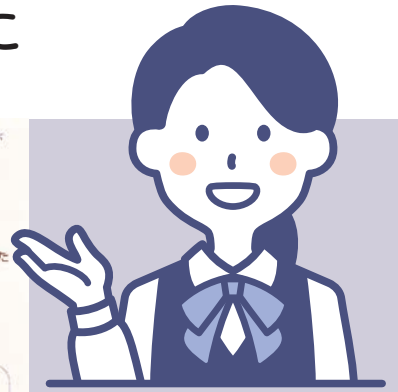
より

## マイナンバーカードによるオンライン資格確認の導入について

東邦大学医療センター大森病院  
医事課 課長  
原田 将則 はらだ まさのり

# 大森

病院では昨年12月24日より、オンライン資格確認を導入し、マイナンバーカードを健康保険証として利用できるようにしました。オンライン資格確認とは、健康保険の資格履歴を一元的に管理し、医療機関や薬局の窓口でマイナンバーカードや健康保険証をもとに、その方が加入している医療保険の資格がオンライン上で確認できる仕組みです。院内に設置してある顔認証機能付きカードリーダーにかざし手続きすることにより、医療保険の資格確認ができ、限度額適用認定証としての利用もスムーズに行うことができます。



東邦大学 大森病院  
マイナンバーカードの健康保険証利用について

■マイナンバーカードの健康保険証利用が可能となりました。ご希望の方は下記の窓口までお申し出ください

1号館1階 **A1** 初再診窓口  
3号館1階 **H1** 初再診窓口

利用上の注意

- 主保険しかご利用出来ません。(医療証等は今まで通りお持ちください)
- 高額療養費制度の利用(恩恵額情報の提供)をお願いいたします。(同意されないと、正しい負担割合で計算されない場合がございます)
- 自動再来受付機でマイナンバーカードの確認は行えません。(引続き自動再来受付機で確認を希望の方は保険証をお持ちになり、上記窓口までお申し出ください)
- マイナンバーカードでも保険証同様に毎月窓口での確認が必要です。(マイナタッチの操作が毎回必要です)
- 保険証の提示をお願いする場合がございます

※その他不明点等は、**A1**又は**H1**初再診窓口までお問合せください

届 示 許 可 請  
東邦大学医療センター大森病院  
〒143-8505 東京都大田区大森5-1-1  
TEL:03-3763-1111 FAX:03-3763-1112  
www.omori.u.ac.jp



マイナンバーカードをお持ちの方は、事前にオンライン資格確認の利用申請をしていただくか、ご来院時に利用申請をしていただくことでご利用いただけます。マイナンバーカードをお持ちでない方は、従来どおり健康保険証を使った受診が可能です。

まだ設置台数が少ない状況ではありませんが、今後のマイナンバーカードの普及によって順次増設を計画してまいりますので、是非ご利用いただけますようよろしくお願いいたします。



# INFORMATION

東邦大学医療センター  
大森病院  
Omori  
Ota  
Tokyo



<https://www.omori.med.toho-u.ac.jp/>

- 初診受付時間** 月曜日～土曜日(下記休診日を除く)  
8:30～11:00(一部を除く)
- 休診日** 第3土曜日・日曜日・祝日・  
年末年始(12月29日～1月3日)・  
創立記念日(6月10日)
- 臨時休診日** 10月29日(土)・11月5日(土)
- 臨時診療日** 10月10日(祝)・11月23日(祝)  
平日診療体制といたしますが、診療予約のない方は「休日加算」を適用いたします

## 編集後記

おかげさんvol.2を最後までお読みいただきありがとうございます。今号では、診療科の新しい取り組みを紹介いたしました。ところで、多数の病床と外来部門を備える2号館は竣工50年が経過し、内部、内部とも経年劣化が顕著となりました。そこで、空調設備、空調配管、衛生器具、衛生配管、スプリンクラー配管、医療ガス配管の更新に伴い、各病棟の改修工事を順次行っています。現在は、2号館上層階の外壁パネル改修工事も行っているため、屋上には黒いシートが張られた物々しい足場が組まれております。この改修工事は2025年3月に終了予定としております。また、大田区の外周ドマップでは、今後の気候変動がもたらす危機、超大型台風の接近で海面が上昇した場合や、多摩川の全流域で48時間に58mmの降雨があった場合、本院周辺は0.5～3メートルの水害エリアに該当すると示されています。本院は海拔1.5～2メートルの位置にあるため、高いところでは13メートルの壁を周囲に設置する水害対策工事を大森病院および大森キャンパス全域で予定しています。工事はしばらくの間続きますが、災害時でも本院が災害拠点病院の機能を遺憾なく発揮し、地域に貢献できるように再整備事業を計画しています。今後、詳細については改めてお知らせいたします。

(M・N)